

令和7年度第3回白井市文化会館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和8年3月4日（水） 午後3時00分から午後4時30分まで
2. 開催場所 文化センター2階 かおりホール
3. 出席者 委員 佐藤会長、白岩委員、佐藤委員、中山委員、坂巻委員、長野委員
鈴木委員、野口委員、田中委員
4. 欠席者 吉井委員
5. 事務局 高花センター長、佐山主査、金井主任主事、能條主任主事
6. 傍聴者 3人
7. 会長挨拶
8. 議題 (1) 令和8年度予算（案）について
(2) 令和8年度自主事業について
(3) 文化センター大規模改修基本計画素案について
9. 議事 以下のとおり

1 会議開催

2 議題（1） 令和8年度予算（案）について

（事務局説明）

① 昨年度の決算の比較をしているか。（会長）

→比較はしていない。（事務局）

② 自主事業の公演手数料が減っている理由はなにか。（会長）

→令和7年度については、県の負担金を活用した事業実施を見込み、歳出を多く計上した。令和8年度については、県の負担金等の予定が無いので、例年並みの計上としたため減額となった。（事務局）

③ 業務委託の経費が下がっている理由はなにか。（会長）

→昨年度は複数者から見積りを取り平均額を計上した。今年度については入札の実施や、単年ではなく3年契約としたことにより、入札差金等が生じ、減額となった。（事務局）

④ 令和8年度文化会館使用料の積算根拠について。（委員）

→令和6年度の下半期と令和7年度の上半期の実績を元に積算している。（事務局）

→直近の実績を踏まえると、使用料は増加しているという理解でよいか。（会長）

→そのとおりである。（事務局）

⑤ 千葉県民芸術劇場県負担金がある年とない年があると思うが、基準はなにか。（委員）

→負担金は前年度に申請を行う必要がある。令和8年度は申請をしていないため負担金はない。（事務局）

→申請をし、審査が通れば承認されるという認識でよいか。（会長）

→そのとおりである。（事務局）

3 議題（2） 令和8年度自主事業について

（事務局説明）

① 自主事業は3事業を予定しているのか。（委員）

→日程調整中のため、詳細は差し控えるが、現時点では4事業を想定している。（事務局）

→次回以降は、昨年度まとめた「文化会館自主事業運営方針について（提言）」に基づいて、計画や説明を求める。（会長）

→進捗があり次第、委員へ報告する。（事務局）

② 宝くじ公演について、鑑賞した知人から非常に好評であり、青春時代の音楽を一緒に歌って楽しめたとの声があった。このような音楽公演を一つ加えれば盛り上がるのではないかと感じた。（委員）

→提言書にあるとおり、補助金及び助成金等を活用していいものを開催してほしい。（会長）

③ 大ホールでピアノを弾くイベントは市民からの要望か（委員）

→昨年度実施した同様の体験事業について、今年度は実施しないのかと市民からの問い合わせがあったことから、来年度の実施を計画している。（事務局）

→計画の想定はあるか。（会長）

→詳細は未定だが、ピアノの種類や時間等を検討する。（事務局）

→本イベントは自主事業というよりも市の文化活動の一環として位置づけられるものと思われるため、別に自主事業を1事業実施できないのか。（委員）

→ピアノを弾くイベントはコンスタントに開催する事業にした方が宣伝にもなるのではないか。また、時間の範囲内でピアノと他の楽器との共演や、大ホールならではの心地よさを感じられるようないくつかのバリエーションがあればありがたい。（会長）

→この事業は有料なのか。（委員）

→有料の予定である。（事務局）

→文化会館の収入が増える認識でよいか。（委員）

→決算上は参加費収入により歳入が増える形となるが、実際には光熱費や人件費等の経費を要するため、収支としては赤字になると考える。（会長）

4 議題（3） 文化センター大規模改修基本計画素案について

（事務局説明）

① サウンディングの詳細について教えてほしい。（会長）

→第2回の協議内容を踏まえ、民間視点ではどのように捉えられるかを把握するために実施したものであり、連絡が不十分で不透明に見えてしまい申し訳ありませんでした。サウンディング内容については、改修工事の内容、維持管理・運営の方法、これら2つの発注方法についての大きく3点であり、改修工事の内容については、設計・建設会社を中心にコスト面の指摘や物価上昇のリスクを指摘された。維持管理・運営手法については、手法は未定を条件に聞いたところ、基本的には業務範囲が広い方が効率化を図りやすいという意見があった。また、個別事項として、司書や学芸員等の専門職については発注方法を明確にすべきではないかと指摘があった。整備手法についてはすべて成立が可能であるという意見をもらったが、発注方法によっては参加を検討するという意見があった。（事務局）

→1週間の募集期間で参加申し込みはどのくらいの応募があったのか。（会長）

→大規模改修事業は、あり方検討委員会や予算書に掲載しているので、業界には知られている状況である。実施要領を市のホームページで公表し、同時にPPP・PFI協会への周知依頼をしたことで、建設情報誌等から問い合わせもあったが、詳しい参加数については、非公表とさせていただく。（事務局）

② 事業スケジュールについて1年6か月の休館を予定しているようだが、具体的なスケジュールの想定はあるか。（委員）

→現在想定しているのは、従来方式の場合で、令和 8 年度まで基本計画策定、令和 9 年度基本設計、令和 10 年度実施設計、令和 11 年～12 年改修工事、令和 13 年頃開業である。従来方式だけではなく、他の事業手法でも有利に進められないか、効率化できないかという観点でサウンディングを行った。他の事業手法では検討する項目が増えるため、1～2 年程度後ろ倒しになる見込みである。また、設計／改修工事期間の 24 か月から 36 か月という期間は準備期間を含めたもので、休館期間自体は 1 年 6 か月と想定している。休館については、全館休館のパターンをサウンディングでは示したが、大ホールがある会館棟と図書館棟を分けて工事する場合は、工事をしていない棟は使用できる一方で工事音への配慮が必要になるため、工事手法についても検討しているところである。(事務局)

→DB 方式の設計／改修工事期間の 36 か月は、設計を含めた 36 か月であり、工期は他の手法と同程度という理解でよろしいか。(会長)

→DB、DBO 方式は基本設計が終わったところは実施設計に移れると考えるので、設計期間の短縮が見込めると想定している。(事務局)

→想定スケジュール上は、従来方式より半年ほど開業が早まるという認識でよろしいか。(会長)

→現状、スケジュールと財政推計は従来方式で想定をしている。従来方式以外の場合は財政調整や仕様書等の準備期間を 1 年程度見込んでおり、それを含めて全体の期間を考える必要がある。(事務局)

③ 地下の改修について教えてほしい。(委員)

→地下については、会館棟は楽屋、機械室等、図書館棟は書架や機械室といった既存設備の改修を想定している。(事務局)

④ 中ホールの舞台背面に通路が無く、袖の間の移動ができない状況なので検討してほしい。(委員)

→検討する。(事務局)

⑤ 来年度にかけて基本計画を策定していくと思うが、概要やどのような形で示す等の想定はあるか。(会長)

→現在、どこを改修するかといった内容を盛り込んだ基本計画書を作成している。4 月頃を目途に基本計画書のパブリックコメントを実施の方向で考えているが、それまでに協議会の開催の予定はないため、パブコメ案を皆さんに送付する形で報告したいと考えている。文化センターが実際にどのように変わるのかという具体的な内容については、令和 9 年度に予定している基本設計の段階で、より明確になると考える。(事務局)

→パブコメ案が基本設計の仕様書になる認識でよろしいか。(会長)

→基本計画の内容を基に基本設計の仕様を検討する。(事務局)

⑥ ウッドデッキの設置について、現時点でどのような想定や構想をしているのか。(委員)

→現在エントランスと中庭の行き来が、はめ殺しのガラスにより十分に活用できていない状況にある。エントランスと中庭を自由に行き来ができ、あり方検討会委員会の方針でもある、用事が無い方も来やすい、賑わいづくりができればと想定している。(事務局)

⑦ 改修工事後の運営等の計画はあるのか。(委員)

→サウンディングでは中庭等を活用したイベント等の意見があった。(事務局)

⑧ 機能・規模の与条件整理の中ホールの箇所に「用途変更・収益施設や他公共施設機能の導入検討」とあるが、中ホールは存続できるのか。(委員)

→当該箇所は、あり方検討委員会の方針の内容を箇条書きに掲載した部分になり、基本計画は「文化センター各館機能における検討項目について」とサウンディング等の内容を加味して作成していく考えである。(事務局)